

## ■資料の構成

1. 第79回緑の審議会のふりかえり P´	1
1-1 みどりの基本計画の目的や定義等P:	3
1-2 ご質問の回答 ······ P4	4
2. 理念と将来像の位置づけについて(過去の計画より) P(	6
3. 計画の基本理念(素案)について Pː	7
4. 課題の再整理及び計画検討の視点とみどりの将来像(素案)について P8	8

# 1. 第79回緑の審議会のふりかえり(ご意見と対応について)

(1)みどりの基本計画を検討していくうえで基本となるご意見

いただいたご意見	対応
何のために計画をつくるのか、しっかり考えなが ら進める必要がある。	
みどりのオープンスペースという言葉について説 明してほしい。	みどりの基本計画の目的や定義等を整理 →議事資料 1 P3
みどりは、文化的な意味合いも含むもの。歴史 や景観といった視点を持つことも大切である。	

## (2)ご質問

- (と)に貝叩				
いただいたご質問	対応			
中央区は大きなみどりに接し、みどりが多い印	中央区に居住する市民は「住まいのまわりがる どり豊か」と思う人の割合が多いが、公園の面			
象がある。	は少ないので課題とした →議事資料1 P4の回答参照			
町内会委託で管理している公園数の推移を把 握したい。				
ボランティアなどの活動は具体的にどんなことをいているのか。	データや事例等を紹介 →議事資料1 P4~5			
民間のオープンスペースの良好な事例とは。				

1

## (3)札幌のみどりの現状と課題について

いただいたご意見	対応			
課題の項目を考えるときの整理の仕方を検討す るべき	今回の議事資料で再度ご審議いただく →議事資料1 P8~9			
民有地のみどりは、維持されにくいことも課題の ひとつ。	現状と課題の【都心のみどり】【市街地のみどり】 に追加 →議事資料1 P8			
乳幼児が使える公園といった視点の課題を加えてはどうか。	現状と課題の【都市公園のみどり】に追加 →議事資料1 P9			
市民ニーズとして、高齢者や子育て世代など多様な立場からみた課題が必要ではないか。	現状と課題の【多様な主体とみどり】に追加			
子育て世代は、みどりとふれあう機会がれば参加したいと考えているが、自ら取りに行かないと情報が入ってこない。情報発信の仕方も課題のひとつではないか。	→議事資料1 P9			
札幌らしさを打ち出した課題も必要ではないか。	現状と課題に【札幌らしいみどり】を追加			
札幌の課題として「長い冬」がある。	→議事資料1 P9			

## (4)今後、具体的な施策として検討するご意見

いただいたご意見	対応		
民間利用地の緑被を高めるのに街路樹の維持管理の ノウハウ(みどりを育てる技術)の伝授をしてはどうか。			
公園の民間活用は、民間が持続的に関心をもってくれ るかどうかが重要である。	今後、具体的な施策として検討		
民間による公園運営を考えるときには、メリットだけでなくデメリットも踏まえて検討することが大切ではないか。			

今後、具体的な施策として検討

## 1-1 みどりの基本計画の目的や定義等

#### 意見:何のために計画をつくるのか、しっかり考えながら進める必要がある

#### (1)みどりの基本計画策定の背景と目的

- ・社会情勢の変化や市民ニーズの多様化などにより、都市の拡大から縮小へ、量の拡大から今ある施設の有効活用へ、計画の方向転換を図る必要が生じていることから、第4次 札幌市みどりの基本計画を新たに策定することとしたところです。
- •「札幌市みどりの基本計画」は、札幌市が目指す将来のまちのあり方を"みどりの観点"で考え、取組むべきことをまとめるものです。
- ・法律に定められた行政計画であり、市民や企業、団体などの皆さんと計画の内容を共有 し、共にみどりづくりを進めていくために活用していくものです。
- この計画を策定し実行に移していくことで、時代の要請に応えるとともに、将来あるべき札幌のまちの実現と、札幌の誇るべきみどりを次世代へ受け継いでいくことができると考えます。

#### (2)みどりの定義(第3次札幌市みどりの基本計画 P3より)

この計画では、札幌における公園、森林、草地、農地、河川や湖沼池のほか、民有地を含めたすべての緑化されているスペース、さらには樹木や草花(コンテナや鉢など植えられたものを含む)などを包括する言葉を「みどり」と定義します。

(3)みどりの基本計画の対象(国土交通省監修「新編 緑の基本計画ハンドブック」P2 都市の緑より) みどりは、樹木や草花などの植物のみを意味するのではなく、それらを含む、周辺の土地 や空間をも意味しています。即ち、個人の庭園の草花や街路樹などばかりでなく、公園・ 広場、農地、樹林地、河川、湖沼まで含むものです。「みどりの基本計画」は、これらのみ

#### 質問:みどりのオープンスペースという言葉について説明して欲しい

#### ■みどりのオープンスペース

どりを広く対象としています。

オープンスペースとは、ほぼ自由に立ち入ることができる開放的な広がりをもった空間と定義されます。その効果として、開放感を充足させられること、自由に人が利用することで、都市の活力を生むこと、災害時等に緩衝帯として機能すること、好ましい都市景観の形成に有効であることが挙げられます。

「札幌市みどりの基本計画」では、開放的な広がりをもった空間に、植物などを加えることで、うるおいのある空間にするとともに、こうした植物などに関わる人々が集い交流することがオープンスペースの特に重要な効果であると捉え、単に空間的な広がりを指すのではなく、みどりを活かす空間として「みどりのオープンスペース」としました。

こうした空間の代表的なものが公園や緑地で、みどりのある広場や街路樹のある広い道路、 草地のある河川も「みどりのオープンスペース」と言えます。

#### 意見:みどりは、文化的な意味合いも含むもの。歴史や景観といった視点を持つことも大切である

#### (4)札幌のみどりのはたらき(第3次札幌市みどりの基本計画 P6~8より)

#### ●都市環境、地球環境を保全・改善する

- ・樹木が増えることで二酸化炭素の低減、水源かん養、大気の浄化、ヒートアイランド現象の抑制などにつながります。
- ・街をとりまくみどりと市街地のみどりを保全・創出・ネットワーク化することで、多様 な動植物の生育・生息・移動空間が保全されます。
- ・ 落葉や刈草を用いた堆肥づくりや剪定枝のチップ化による舗装材としての活用など、み どりのリサイクルの取組みが循環型の都市形成に寄与します。

#### ●札幌らしい景観をつくりだす

- ・藻岩山や豊平川といった、街をとりまく山並み、河川、草地などが街にうるおいを与え、 札幌を特徴づける風景・景観を形成します。
- ・北国の気候、風土に適した樹木や花が四季を通じて街並みを彩り、<u>地域の歴史的なみどりやシンボリックなみどりを保全・創出することで、地域ごとの個性的な景観を創出します</u>。

#### ●安全・安心な都市基盤を形成する

- ・公園や緑地をはじめとするオープンスペースは、災害時の避難場所、延焼防止帯として機能しています。これらを適切に配置・ネットワーク化することで、避難場所などとして重要な機能を果たし、街の安全性や市民の安心感を高めます。
- 一部の公園や緑地は冬季に雪を置く場所として機能するなど、快適な冬の暮らしに貢献します。
- ・森林や緑地は、水源かん養による洪水の調節のほか、市街地では騒音や振動を緩和する 効果もあり、健全な生活空間を担保します。

#### ●人々のさまざまな活動の場となる

- ・公園や緑地などは、市民の健康増進につながるスポーツ、レクリエーション、休養、散 策などの余暇活動の場となります。
- ・ 余暇時間の増大、価値観の多様化などに伴う、園芸活動や自然に親しむライフスタイル を充実させる場となります。
- ・家庭や学校地域における自然教育、自然体験などの学習機会の場となります。

#### ●人々をつなぎ、まちに活力をもたらす

- ・公園や緑地、森林での活動を通じて人と人がつながり、コミュニティを醸成します。
- ・みどりを通したコミュニティが、より大きなつながりやネットワークを育むことで、街 に活力や住みやすさをもたらします。

# 1-2 ご質問の回答

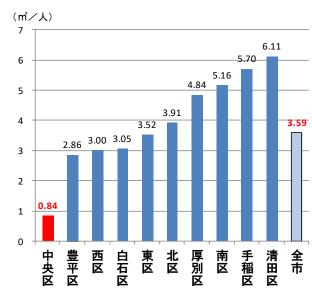
#### 意見:中央区は大きなみどりに接し、みどりが多い印象がある

## ■みどり豊かだと感じている市民の意識(区別のみどりの豊かさの印象に関する参考)

中央区は、1人当たり住区基幹公園面積が、10区の中でも著しく低い状況にあります。「みどりに関する市民アンケート」での住まいのまわりがみどり豊かだと思っている市民の割合は、中央区では34.2%となっており、10区中6番目となっています。また、緑被率を見ると、中央区は15.4%で、10区中7番目になっています

## ■区別の1人当たり住区基幹公園面積 (平成28年度調査)

中央区は10区中最下位



# ■区別の住まいのまわりがみどり豊かだと思っている市民の割合 (平成28年度調査)

中央区は10区中6番目



### ■区別の市街化区域緑被率 (平成26年度調査)

中央区は10区中7番目



#### 質問:町内会委託で管理している公園数の推移を把握したい

### ■町内会委託で管理している公園数の推移

草刈や清掃を町内会に委託している街区公園は減少傾向にあります。

#### ■町内会街区公園委託率等の推移



4

#### 質問:ボランティアなどの活動は具体的にどんなことをしているのか

### ■ボランティアなどの活動について

ボランティア活動は、個人から大規模な団体まで様々な取組が行われています。

主な活動な場所	ボランティアなどの活動	個人	企業	町内会など	ボランティア 団体 (NPO含)
都心のみどり	タウンガーデナー	0			0
	おもてなし花壇(花の手入れ、花苗寄付)	0	0		0
	さっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度		0		
	緑の募金(記念樹、ツタ苗、フラワーポット配布、さっぽろガーデンシティ活動事業助成)	0	0	0	0
	タウンガーデナー	0			0
	歩道美化事業(街路樹ます花壇の花植え)		0	0	0
	マイタウン・マイフラワー		0	0	
	緑の協定制度			0	
市街地のみどり	緑の募金(記念樹、ツタ苗、フラワーポット配布、さっぽろガーデンシティ活動事業助成)	0	0	0	0
	アダプト制度		0	0	0
	各区役所での緑化の取組(とよひらHANA-LAND(豊平区)、清田ガーデニングコンテスト(清田区)、あつべつ花フェスタ(厚別区)など)	0	0	0	0
	河川愛護運動		0	0	0
郊外のみどり	森林ボランティア	0	0		0
	タウンガーデナー	0			0
	公園ボランティア	0	0	0	0
都市公園	街区公園等管理委託			0	0
	ふるさとの森づくり連携協定		0		
	市民植樹祭	0	0	0	0
	みどりのリサイクル			0	0



#### ■タウンガーデナー

活動に役立つ情報提供や 相互交流を図る取組



#### ■マイタウン・マイフラワー

小学校や幼稚園などが種 から花苗を育てて、植樹桝 に花植えを行う活動



#### ■市民植樹祭

市民や企業との協働によ り植樹する活動



#### ■歩道美化事業

地域住民等の協力を得て 街路樹ます等で花壇づく りを行う活動



## ■森林ボランティア

市有林などで草刈、間伐、 枝打ちなどを行う活動

#### 質問:民間によるオープンスペースの良好な事例とは

#### ■民間によるオープンスペースの良好な事例



■北3条広場 中央区北2・3条西4丁目 三井不動産・日本郵政 G (当時) がビル建設 を機会に都市計画提案を行い公共貢献の一 環として広場空間を整備した例



■東武ホテルの中庭 中央区南3条東1丁目 ホテルの中庭を緑化して、活用している例



■札幌エルプラザの公開空地 北区北8条西3丁目 隣接する超高層ビルとの間に南北に通り抜け られる公開空地を設けた例



■札幌ガーデンパーク 東区北7条東9丁目 サッポロビール第2工場敷地の再開発にと もない、地域貢献の一環としてみどり豊かな オープンスペースを設けた例



■北星学園大学北側入口 厚別区大谷地西2丁目 サイクリングロードに面する大学の敷地の一部 を開放して休憩できるオープンスペースを設け 緑化した例



■みずほガーデン 東区北39条東14丁目

「さっぽろガーデンシティ活動事業助成」を 受け、社会福祉法人が建設した2つの住宅の 庭を地域に開放したコミュニティガーデン とした例 5

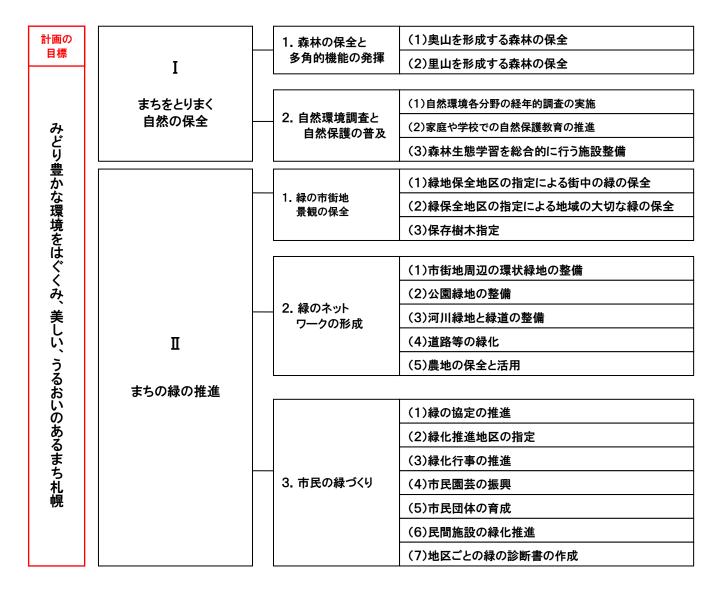
## 2. 理念と将来像の位置づけについて(過去の計画より)

これまで、札幌市では、昭和 57(1982)年の第1次の札幌市緑の基本計画から、平成 23(2011)年の第3次札幌市みどりの基本計画まで、3度にわたりみどりの基本計画を策定 しており、それぞれの計画で、将来像や計画の体系が変ってきています。

## (1)第1次札幌市緑の基本計画 昭和57(1982)年2月策定

第1次計画では、人口増加による市街地のスプロール化対策を目的とした計画となって おり、みどりの保全・整備が主体となっています。

内容としては理念や将来像は明記されておらず、体系も整理されていませんでした。 書かれている内容を体系として再整理すると、以下のようにまとめられます。



#### (2)第2次札幌市緑の基本計画 平成11(1999)年6月策定

第2次計画は、法律に定められた 行政計画として位置づけられたもの です。人口増加が続いており、市街地 や郊外のみどりの減少が進んでいた ほか、公園の整備水準に地域格差が見 られました。また、市民参加が強く叫 ばれるようになっており、計画の基本 方針のひとつとして「市民参加」がク ローズアップされました。

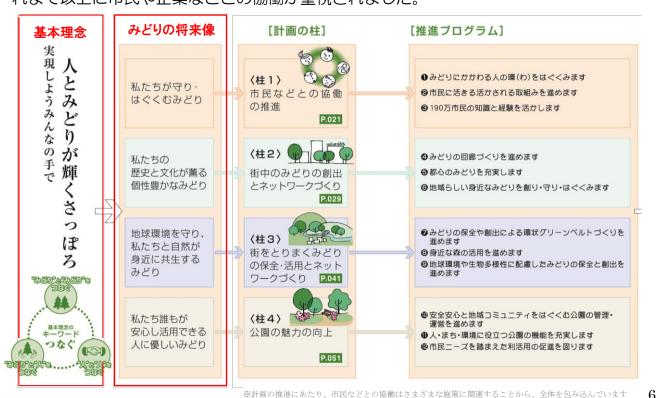
#### 将来像

- 人と自然が身近に共存する みどり
- ・ 北国の風土を象徴するみどり
- 街並みに映えるみどり
- 住まいのみどり



#### (3)第3次札幌市みどりの基本計画 平成23(2011)年3月策定

第3次計画は、財政的な制約が厳しさを増す中で、市街地の開発が抑制されるようにな り、都市のスプロール化にブレーキがかかりはじめました。そこで環境問題への対応やこ れまで以上に市民や企業などとの協働が重視されました。



## 3. 計画の基本理念(素案)について

計画の基本理念は、札幌市がみどりのまちづくりにあたって、どのような姿勢で臨むかの根本的な考え方を表したものです。

## 第1次札幌市みどりの基本計画

#### 【目標】

みどり豊かな環境をはぐくみ、美しい、うるおいのあるまち札幌

## 第2次札幌市緑の基本計画

#### 【計画の理念】

生活に潤いや安らぎを与えてくれる緑をわたしたち自身が守り育てていく 「実現しようみんなの手で 人とみどりが輝くさっぽろ」

#### 【要旨】

計画内容を話し合った13回にわたる市民ワークショップの意見を総まとめして生み出されたもので、豊かな自然と調和した札幌のまちを、市民みんなの力で実現することがみどりの基本計画にとっての根源であるとしました。

## 第3次札幌市みどりの基本計画

## 【基本理念】

街にうるおいと安らぎを与え、地球環境にとって大切なみどりを、私たち自身が守り育て、 次世代へつないでいく 「実現しようみんなの手で 人とみどりが輝くさっぽろ」

#### 【要旨】

豊かな自然と調和した札幌のまちを、未来の子どもたちに引き継いでいくことを目指し、第2次緑の基本計画の「計画の理念」継承するとともに、推進にあたって、人とみどりのさまざまなつながりをつむいでいくことが大切とし、「つなぐ」を新たにキーワードとして加えました。

#### 第4次札幌市みどりの基本計画

【基本理念(素案)】

# 実現しようみんなの手で 人とみどりが輝くさっぽろ

この計画の基本理念は、みどりづくりを進めるにあたって、現在においても大切な姿勢であると考えることから、第4次札幌市みどりの基本計画においても、札幌市のみどりのまちづくりの根本的な考え方として継承していきたいと考えています。



## 4. 課題の再整理及び計画検討の視点とみどりの将来像(素案)について

### 札幌のみどりの現状と課題(再整理) 計画検討の視点(素案) 将来像(素案) 【都心のみどり】 ・公共施設の緑化や民間施設の緑化を促すなど、みどりの量と価値の向上を図り、都心部の **魅力や活力向上**につなげることが必要 都心部のみどりの量と価値の向上 ・みどりは文化的意味合いも含むもので歴史や景観といった視点が必要 ・みどりによって都市価値が高まることの共通認識が必要 文化や歴史を活かした成熟した都心の風格づくり • みどりの効果や効用について研究機関と共同で示すなど、**市民や民間事業者の理解を高め** る活動が必要 うるおいや風格を感じさせるみどり 公共施設・民間施設の緑化の推進と維持 が育ち、札幌の魅力を高めている。 ・民間施設の建設にあわせたみどりのオープンスペースの確保 民有地の緑化率の向上が必要 ・民有地のみどりの維持が必要 まちづくりの様々な取組と連動した緑化の推進 ・公共施設のさらなる緑化が必要 ・緑化行政だけでなく様々な法制度と連携した取組が必要 都心部の街路樹による良好な景観の創出と保全 • 街路樹の伐採時は**周知と説明**が必要 • 街路樹による緑量の多い道路景観を維持するための方策が必要 【市街地のみどり】 民有地の緑化率の向上が必要 ・民有地のみどりの維持のノウハウが必要 民有地の多様な主体による、みどりの創出と保全 ・まちづくりの観点から**みどりの価値を高め、活用につなげる方策**が必要 北国らしいみどりで彩られた街並み ・緑化行政だけでなく様々な法制度と連動した取組が必要 より使いやすい身近な緑を育む が市民生活を豊かにしている。 • 「使いやすい」みどりが必要 街路樹の樹種や配置の改善とみどり豊かだと感じ • 街路樹の伐採時は**周知と説明**が必要 られる街並みの形成 街路樹の危険木への対応とみどり豊かだと感じられる街並みの形成が必要 【郊外のみどり】 ・ 近郊の森に親しむ人のすそ野の拡大が必要 身近な森林と親しむ機会の充実 •「市民の森」など**民有林の継続的な利用**を図るための体制や制度の見直しが必要 近郊の森に対する利用ニーズの多様化やオーバーユースへの対策が必要 まちをとりまく自然が保全され、多 郊外のみどりの質を高めることが必要 郊外のみどりの質の向上 くの市民がみどりに親しみ、多様な ・森林の保全や活用をより計画的に推進することが必要 生き物と共生している。 ・生物多様性に対する意識の向上が必要 生物多様性に向けた意識の醸成やみどりの保全 ・市民生活に影響を及ぼす野生鳥獣の対策が必要 ・特定外来生物や指定外来種への適切な対応が必要

#### 札幌のみどりの現状と課題(再整理)

#### 【都市公園のみどり】

- 都市公園の**地域的偏りの改善**が必要
- ・膨大な数の老朽化した公園施設への対応が必要
- 公園の機能分担等の推進が必要
- ・多様なニーズに応える**使いやすい公園づくりのための民間との連携**が必要
- ・公園の利活用に民間の活力を導入することが必要
- ・観光や都市景観の向上に資する公園の活用や整備が必要
- ・公園の特性に応じたニーズへの対応が必要
- ・乳幼児が安全安心して遊べる公園が必要

### 【多様な主体とみどり】

- ・ボランティアリーダー等の育成や、**多様な主体が継続的に活動できる方策**が必要
- ・高齢者や子育て世代の立場にたったニーズの把握や機会の提供
- ・子育て世代など若い世代がみどりに関わる機会の提供
- ・多様な主体によるみどりづくりの取組や新たな方策が必要

#### 【札幌らしいみどり】

- ・「長い冬」を考えたみどりの活用が必要
- ・短い夏を屋外で楽しむ暮らしを支える公園使いやみどりの活用が必要
- ・藻岩山や豊平川など、自然環境の活用が必要
- ・モエレ沼公園など他にはない札幌の特徴を活かすことが必要
- ・気候風土に合った草花や植物による、地域性のある景観づくりが必要
- •身近に自然があることを活かした暮らし方や生き物との関わりに対する考え方を育んでいく ことが必要

## 計画検討の視点(素案)

公園の適正な配置と既存施設の活用

民間の活力を活かした公園づくり

多様なニーズに応える公園の運営

継続して様々な人がボランティア活動に参加する取 組の推進

全ての世代の市民がみどりと関わる機会の提供

市民・企業・行政などの連携によるみどりづくりや活動の推進

市民や観光客にとって魅力あるみどりづくり

札幌の自然環境を踏まえたみどりの保全と活用の推進

#### 将来像(素案)

様々な場面で公園が憩いや交流の場として活用されている。

多様な主体がみどりの価値を共有 し、連携・協力しながらみどりを育 んでいる。

市民が札幌の自然やみどりを誇りに 思い、札幌を訪れる人たちが、札幌 の良さを感じ、札幌らしい景観を楽 しんでいる。